

令和2年度 住民型有償サービス「マネージャー研修」を 開催しました！！（第1回目）

令和2年10月30日（金）に住民型有償サービス「マネージャー研修」の第1回目を中津市教育福祉センターにて開催しました。

当日は、まず最初に、中津市で平成5年頃から住民型有償サービスの立ち上げに尽力された吉田日出子氏（沖代どんぐりサービスマネージャー）と、武下英二氏（当時の中津市社会福祉協議会福祉活動専門員）にご講話いただきました。吉田氏には「立ち上げの経緯と長年のマネジメントを通じて感じていること」を、武下氏には「社協職員としてなぜ住民型有償サービスが必要だと思ったのか」について、その後、お二人のお話しを受けて、川村岳人先生（大分大学准教授）に「住民型有償サービスの可能性」と題してお話いただきました。



～参加された18名のマネージャーさんからの気づきや感想～

「市内の中心部と田舎の団体ではサービスの質が違うので一概に当てはめることはできないと思っていたが、地域づくりという点での有償サービスの役割の大きさは同じでありとても大きいものだと感じた。」

「ただ支援に行くだけでなく、利用者さんにとってはお話することも大切なことだと改めて分かった。」

「地域の中での繋がりはとても重要であり、いつか自分がサービスを受ける将来を考えたときに安心して暮らせる地域であるように、日々活動に努めていこうと思った。」



吉田 日出子氏



武下 英二氏



川村 岳人氏